

1月の衛研検査情報

～トピックス～

横浜市内の蚊成虫生息状況調査結果 —平成25年6～10月—

地域特有の蚊の生息状況を把握しておくことは、ウエストナイル熱やデング熱等の蚊媒介感染症が発生した場合に、防除対策計画を立てるうえで重要な資料となります。平成25年度は、6月から10月にかけて横浜市内19か所（各10回）で、各区福祉保健センター生活衛生課と連携し、蚊成虫捕獲調査を行いましたので報告します。

主な結果 調査期間中、捕獲された蚊成虫の雌雄合計は、6属10種10,023個体でした。最も多く捕獲された地点は、磯子区内公園で1,285個体、次いで鶴見区内公園で1,252個体でした。

残留農薬検査（その2）

当所では、横浜市内に流通する農産物等の食品に残留する農薬の検査を行っています。今回は、平成25年10月から12月までに食品専門監視班及び各区福祉保健センターより搬入された農産物等の検査結果を報告します。

主な結果 市内産農産物32検体については、8種類10項目の農薬が検出されました。国内産農産物10検体については、8種類9項目の農薬が検出されました。いずれも基準値未満でした。

畜産食品中の動物用医薬品検査結果（その2）

当所では、横浜市内で入手することができる畜水産食品に残留する動物用医薬品の検査を行っています。今回は、平成25年9月から11月までに食品専門監視班より搬入された畜産食品の検査結果を報告します。

主な結果 市内を流通している畜産食品20件とインターネットを通じて購入した畜産食品10件について検査を行ったところ、羊の脂肪1件からモキシデクチンが検出されました（基準値未満）。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページは、感染症情報や保健情報、薬事情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成25年11月は、インフルエンザワクチン、咽頭結膜熱の届出基準、クロストリジウム-ディフィシル感染症に関するページのアクセスが多くみられ、総件数は184,062件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査等の結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。